

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分
 【発行日】平成 29 年 3 月 30 日 (2017.3.30)

【公表番号】特表 2016-512945 (P2016-512945A)
 【公表日】平成 28 年 5 月 9 日 (2016.5.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-027
 【出願番号】特願 2016-503777 (P2016-503777)
 【国際特許分類】

H 0 2 K 49/10 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 49/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 2 月 20 日 (2017.2.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ブラシレス D C モータのロータと外部の機械的負荷との間の機械動力を連結するための装置であって、

a) ブラシレス D C モータのロータを構成する第 1 のリング及び磁気クラッチを構成する第 2 のリングを含む 2 つの同心リングと、

b) 前記第 1 のリング及び前記第 2 のリングに接続された同じ数の磁石であって、前記第 1 のリングに接続された前記磁石が周方向に互いに離間し、また前記第 2 のリングに接続された前記磁石が周方向に互いに離間している、前記磁石と、

c) 対向する磁石の各組の極の反対配向であって、一方の磁石は前記第 1 のリング上に位置し、それに対向する磁石は前記第 2 のリング上に位置している、前記配向と、

d) 前記ブラシレス D C モータのステータを構成する周方向に離間した複数の固定空心ソレノイドであって、前記第 1 のリングの前記磁石は前記各空心ソレノイドの内部を通過することができ、前記複数の固定空心ソレノイドは電氣的に付勢されたとき電磁界を生成して、それらの内部を通過する前記磁石の磁界にトルクを生成し、それにより前記第 1 のリングをその軸線周りで回転させ、また、前記第 1 の同心リングが前記生成された電磁界に応じて回転するとき、前記第 2 の同心リングもまた、前記対向する磁石の各組の間の磁力の作用によって回転する、前記複数の固定空心ソレノイドと、

e) 前記第 2 のリングを外部システムの機械的負荷に接続する接続手段とを有する装置。

【請求項 2】

前記第 1 及び第 2 のリングが平坦なリング形状の板である、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記対向する磁石の各組が同じ大きさである、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記 2 つの対向する磁石の磁気強度が本質的に同じである、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

前記第 1 のリング内の各磁石が前記第 2 のリング内の対向する磁石を有する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 6】

各組の前記対向する磁石間の距離（ d ）が、約 30 mm である、請求項 5 に記載の装置

。

【請求項 7】

各組の前記対向する磁石間の距離（ d ）が、18 mm、22 mm、29 mm、30 mm 及び 35 mm からなる群から選択される、請求項 5 に記載の装置。

【請求項 8】

前記第 1 及び第 2 のリング上の 2 つの隣接する磁石間の距離が、同一のリング上の他の 2 つの隣接する磁石間の距離と同じではない、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 9】

前記接続手段は、周方向に離間した複数の線形要素を有し、前記複数の線形要素は、前記第 2 のリングから、前記第 1 及び第 2 のリングの中心に位置する前記機械的負荷まで径方向に延び、且つ前記第 2 のリング及び前記機械的負荷に接続されている、請求項 1 に記載の装置。